ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	BV-1(測点NO.2C)	調査位置						北　緯	36 ° 39 ' 42.0000 "
発 注 機 関	栃木県烏山土木事務所			調査期間	2008-09-16 ～ 2008-09-18			東　経	140 ° 10 ' 41.0000 "
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	71.84 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平 0° 90° 25.00 °	使用機種	
総 掘 進 長	9.30 m							試 錐 機	ハンマー落下用具
								エンジン	ポ ン プ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) 測定月日
	71.24	0.60	0.60		表土 (SF)	暗褐			含水少ない 有機質シルト主体 植物根を多量混入する		
	71.04	0.20	0.80		粘土質砂礫 (GSC)	茶褐			含水少ない φ30mm以下の砂岩の角礫主体 φmax60mm程度 マトリックスは砂混り粘土		
1					砂礫 (GS)	褐灰			含水少ない φ30mm以下の砂岩の角礫が主体 φmax70mm程度 マトリックスは細～中砂主体 所々に粘土分を混入する 全体にガサガサしている		
2											
3	68.84	2.20	3.00		礫混り粘土 (CH-G)	褐灰			含水粘性ともに中位 φ20mm以下の角礫を混入する粘土		09/16 3.45
	67.94	0.90	3.90								
4					砂礫 (GS)	褐灰			含水少ない φ60mm以下の角礫が主体 マトリックスは中砂が主体 4.50m以深は含水多くなる 下部は円礫も混入する		09/18 5.16
5											
6	65.54	2.40	6.30		頁岩 (Sh)	黒灰			全体に岩質はやや硬質であるが割れ目が非常に多い 一部破砕状を呈する コアは一部短棒状となるも、ほとんどが岩片状～礫状となる 8.9～9.0mは珪質である		
7											
8											
9	62.54	3.00	9.30								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	2	3	3	8／30	8
1.45					
2.15	2	6	23	31／30	31
2.45					
3.15	2	2	1	5／30	5
3.45					
4.15	3	3	2	8／30	8
4.45					
5.15	9	7	5	21／30	21
5.45					
6.15	15	35		50／20	>50
6.35	50／2			50／2	>50
7.00					
7.02					
8.00	50／1			50／1	>50
8.01					
9.00	50／1			50／1	>50
9.01					

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						09/16
						09/17
						09/18